

松元地域での

「市長とふれあいトーク」発言に対する処理状況 【平成18年1月末現在】

(開催概要)

日時：平成17年10月13日(木) 19:30～20:30

場所：松元公民館

検討結果等、
処理状況の分類

1. 既に施策等に盛り込み済み、処理済みのもの
2. 施策への反映を検討中、処理中のもの
3. 要望等に沿い難いもの
4. 市の所管に属さないもの
5. その他

平成18年3月

鹿児島市市民参画推進課

松元地域での「市長とふれあいトーク」発言に対する処理状況

平成18年1月末現在

日時：平成17年10月13日（木）19:30～20:30
場所：松元公民館

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等	現在までの処理状況	分類
1	石谷町 男性	松元地域の運動会の開会式で市民歌を歌おうということであったが、ほとんどの人が歌えなかった。 県民手帳というのが県民には配付されているので、鹿児島市も市民として誇りを持ってもらうため、また、市政がみえるような、市民手帳のようなものを考えられたらどうか。市民がそれを持つことによって市民としての誇りを持つし、合併した市民にとっては、（市民歌も含め）分からないことが多いので知識も広まると思う。	市民便利帳を合併後に配付させていただいたが、その中にも市政について記載してある。 市民手帳ができるかどうかについては、今後、検討してみたいと考えている。	総務局	市では、市民の日常生活に関わりの深い市の制度や窓口・届け出先、手続き方法など（市民歌も含め）、市民の暮らしに役立つ市政情報などを分かりやすくまとめた「こんにちは市役所です～市民便利帳」を4年に1度発行している。最新の便利帳は、合併後間もない平成16年12月に全戸配布したところであり、是非ご活用いただきたい。	（検討結果、今後の方針等のとおり）	1
2	春山町 男性	春山に、高齢者が生産した農産物を販売しているところがあるが、施設が古く十分に買うことができない状況である。 地元住民は利用しているが、他の地域の人には目に付かないような施設であるので、道の駅に準じたものができるのか。 また、松元の農産物だけではなく、水産農産物の販売所としたら、地元が生き生きとしてくると思うが、考えをお聞かせ願いたい。	私も何回か利用させていただいたことがある。 地域全体を活性化させていくかということが、今後のまちづくりについて一番重要な課題ではないかと思っている。 「道の駅」的なものという提言があったが、それも含めて松元のまちづくりについて十分検討させていただきたいと思っている。松元地域だけではなく、物流の関係も含めてどういった形態で出来るかということもみなさんと一緒に考えていきたいと思っている。	企画部、 経済局	（企画部・経済局） 農産物販売所の「フレッシュ館お茶畑」は、松元地域の生産者の方々が地域で収穫した農産物や地域の農産物を使った加工品等を販売し、地域の活性化を図っているところである。 当施設のある、県茶業指導農場跡地については、新市まちづくり計画において、有効活用を図ることとされ、また、先に改訂した第四次鹿児島市総合計画において、活用の検討を行うこととしているので、今後、活用についての検討を進めてまいりたいと考えている。	（企画部） 第四次鹿児島市総合計画の実施計画（平成18年度～20年度）に、「県茶業指導農場跡地の活用の検討」を登載しており、今後とも、活用についての検討を進めてまいりたいと考えている。	5
						（経済局）（検討結果、今後の方針等のとおり）	5

松元地域での「市長とふれあいトーク」発言に対する処理状況

平成18年1月末現在

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等	現在までの処理状況	分類
3	平田町 男性	<p>NPO法人を設立し、大自然を利用した体験型のイベントを実施している。</p> <p>しかし、行政の文書には、「協働」あるいは「学校・家庭・地域社会をいれた融合」という言葉はたくさん出てくる。しかし、こういう活動している団体があるにも関わらず、一回も相談もない。ボランティア活動をしている団体を利用して、一体となって協働という活動をしていただきたい。そして、支援をいただきたいと思っている。</p> <p>心の自然体験学習ということは、非常に重要なことだと思っているので、今後、そういう施策を考えていただければと思う。</p>	<p>私は、行政だけでいろんなことを立ち上げるのではなく、市民の協力をもらい、特に市民の人達がやることを行政がサポートしていくのが、今後の地方行政のあり方ではないかと思っている。そういった意味では、今述べられたことも一つの事案だと思う。</p> <p>NPOやボランティア団体等の提案に対する市の支援については、今、検討しているところである。</p> <p>特に、5町は豊かな自然や歴史、文化があり、旧鹿児島市には無いものがたくさんあるので、里山などは一番の例だと思う。</p> <p>また、都心部と農村地域を結ぶ交流を行う事業も推進しているところであるので、その中でも検討してみたいと思っている。</p>	市民局、 経済局、 教育委員会	<p>(市民局) 今後の本市のまちづくりにあたっては、「市民が主役のまちづくり」を基本に市民と行政がそれぞれの役割と責任を果たしながら、互いに手を携え協働することにより、「かごしま」の特性を生かした愛着と誇りを持てるまちづくりを進めていかなければならないと考えている。</p> <p>NPO等市民活動団体との協働によるまちづくりを推進するために、市民ニーズが高く、行政も民間も手が届きにくい分野で公共的サービスを提供するNPO等市民活動団体に対する活動促進のための支援策について、現在、検討中である。</p>	(市民局) (検討結果、今後の方針等のとおり)	2
				<p>(経済局) 本市では今年度策定する「鹿児島市みどり豊かな農山村ふれあい推進計画」に基づき、今後、緑豊かな農山村で、市民が自然にふれあうことや農林業体験・地域住民との交流などを進めていくこととしていることから、その中でNPO等との連携についても検討してまいりたい。</p>	(経済局) (検討結果、今後の方針等のとおり)	1	
				<p>(教育委員会) 心豊かで元気あふれる「さつまっ子」の育成をめざして、本市では、行政機関のみならず、市内各地域の校区公民館やあいご会・スポーツ少年団・各種青少年団体・ボランティア団体等においても多種多様な実践活動が展開されている。</p> <p>教育委員会では、子どもに体験活動に対する適切な機会や場に関する多様で実効性の高い活動情報を提供することを目的に、「子ども体験活動支援情報誌『キッズ通信アクト』」の作成と配付を行っているが、市内の各種教育機関・関係団体からの情報をいただき掲載しているところである。</p> <p>また、学校では、総合的な学習の時間等を中心に、地域の人材活用に係る事業も進めているので、自然を生かした勤労生産的な体験活動や世代間交流活動の促進について、近隣の学校との相互連携を深めていただければと思う。</p>	(教育委員会) (検討結果、今後の方針等のとおり)	1	

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等	現在までの処理状況	分類
4	直木町 男性	① 松元地区の道路をもう少し充実してほしい。県道35号線は、狭くて通行上危険である。市を通る県道であっても、市と県が総合的に判断され、道路を拡充し舗装することは大事なことだと思う。また、この道路沿いには東昌小学校があるが、少子化が進んでいる。道路ができれば住宅が増え、学校の生徒減も防げると思う。これは、地区の発展にも繋がるし、少子化（の解消）にも繋がると思う。	① 都市整備の中で基本となるのは、道路整備である。県道35線については、それに接続する市道もあり、また、それを經由しているような活動も行われているので、その拡幅については、早急に整備していただくよう、県へ要望・要請をしてみたいと思う。	建設局	県道35号線（永吉入佐鹿児島線）は、松元地域の中心市街地と周辺集落とのアクセス道路であり通学路でもある。道路改良については、これまでも地域住民からの要望もあり、県へも強く働きかけてきた。今回の意見を踏まえてあらためて県に意見をお伝えしたい。	(検討結果、今後の方針等のとおり)	4
		② 日本で初めて博物館をつくった人がこの地区から出ている。鹿児島は理科教育的な面で他県に比べて遅れていると思うので、理化学的な施設の整備について、市と県が連携して検討していただきたい。	② 理化学を核とする学校教育や施設については、市全体の中で検討していかなければならないと思っている。また、県と市が一体となって整備できるかという問題もあるので、県と市で、また、市の中でも十分に検討して結論を出していきたいと思っている。 伊藤知事も県と市について、協働協調の姿勢を示されているので、県の施設の整備についても、言っていただければ私から要請したいと思っている。	教育委員会	本市には既存の理科や科学に関する施設として、科学館・かごしま水族館・平川動物公園がある。また、自然を体験できる施設として、少年自然の家・宮川野外活動センター・冒険ランドいおうじまがある。その他、県立博物館や各地のビジターセンター・資料館や展示施設も数多くある。そして、城山や桜島、錦江湾という理科や自然を学ぶには最適な環境を有している。そこで、既存の施設や恵まれた自然環境を有効に活用したり、県とも連携を図りながら青少年や成人が自然を愛し、理化学に興味関心が深まるようにして参りたい。（鹿児島市のwebページでの紹介や「鹿児島島の自然」の配布等により、広報も行っている。）	(検討結果、今後の方針等のとおり)	1
5	春山町 男性	国道や県道は良くなったと思うが、旧町道は昔のままのところが多い。住宅はできたが道路は離合できない。 交通量の少ない過疎地域は、取り残されるのではないか。もう少し、市道に対し、力を注いで取組んでほしい。	国道や県道は基幹道路で、国と県が整備している。市道の整備は、市全体の予算を編成するときに決まるが、各地域で市道の拡幅や改修、新設等の要望があれば、松元支所へ届けていただければ、予算編成のときに検討していきたいと思う。 それぞれの地域の実情があるが、旧5町の速やかな一体化ということが、私に課せられた命題であるので、旧5町の方々が、まちの活性化が削がれるのではないかと感じているのではないかと対応していかなければならないと思っている。	建設局	市道の拡幅改良等については、地元からの要望等も踏まえ、交通状況や地域バランス等を考慮して計画的に整備を進めているところである。 また、道路パトロールにより、土砂崩落、路肩崩壊などの危険箇所等の点検を行うとともに、地元住民の方々からの情報提供や要望等も踏まえ、適正な維持管理を行っている。 今後も、より安全で円滑な交通が確保できるよう努めてまいります。	平成18年度も段階的に整備を進めていくこととしている。	2

松元地域での「市長とふれあいトーク」発言に対する処理状況

平成18年1月末現在

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等	現在までの処理状況	分類
6	四元町 男性	① 松元地区の水道水は、殆ど地下水であるが、合併して、カルキの量が多いのではないかと思う。水質検査を行い、以前のようにおいしい水が飲めれば良いと思っている。	① 水道水については検査しており、基準値以下では推移している。しかし、カルキが臭いということが続けば、再度検査をして対応したい。	水道局	水道法では、衛生上の措置として、給水栓における水の遊離残留塩素を水1リットルあたり0.1mg以上保持することとなっている。これに基づき、本市の水道でも水道水の残留塩素について適正に管理しており、その濃度についても毎日検査を実施し、確認している。	(検討結果、今後の方針等のおお)	1
		② 四元町には、工業団地用地として約8万平方メートルの土地があるが、その土地を用途変更をお願いできないか。 松元は農業の中心地であるので、施設園芸を中心とした農業団地など、有効な土地利用を考えていただければと思うので、現地を見ていただきたい。	② 四元町の土地については、十分承知しており、農業団地を造りたいという方もいると聞いている。それを含め、今、担当部局で検討しているところである。 この地域の農業に関連する産物産業をどう生かしていけるかということも、今後の課題になるのではないかと思う。 地域の方々の意見を十分にお聞きしながら、活用策を模索してみたいと思っている。	経済局	四元工業団地については、未造成であり、現況は山林のままであることから、当面、市有林として管理しているが、当初の工業団地としての計画にこだわらず、社会経済情勢を見極めながら、長期的・総合的な視野に立って、新たな活用策を検討することとしており、市内における松元地域の特性を生かしながら、農業面の利用についても検討を進めてみたいと考えているところである。	(検討結果、今後の方針等のおお)	5
		③ 出前トークがあると初めて知ったので、また話を聞いてみたい。	③ 出前トークは、担当の職員が地域に出向き、多くの市民に市政についてご理解いただくとともに、皆さんから多くのご提言ご意見を聞くための制度であるので、ぜひ活用していただきたい。	市民局	市政出前トークは、担当の職員が地域に出向いて、市政に関する情報をわかりやすく説明するとともに、市民の意見や提言を伺いながら、ともにまちづくりを考えていこうというものである。 今年度は、109のテーマをそろえているので、聞いてみたいテーマを選んで申し込んでいただきたい。	市政出前トークは、担当の職員が地域に出向いて、市政に関する情報をわかりやすく説明するとともに、市民の意見や提言を伺いながら、ともにまちづくりを考えていこうというものである。 平成17年度は、109テーマをそろえているので、聞いてみたいテーマを選んで申し込んでいただきたい。	5

松元地域での「市長とふれあいトーク」発言に対する処理状況

平成18年1月末現在

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等	現在までの処理状況	分類
7	石谷町 男性	<p>① 松元地域まちづくり会議の内容については、ホームページには載っているが、市民のひろばには、掲載されていなかった。</p> <p>合併論議の中で、地域審議会が議会に変わって住民の意見を反映できるというのがあったが、地域まちづくり会議は、この地域審議会が変わったものであり、大変大きな意味を持っていると思っているし、期待している。</p> <p>会議の内容を住民が知ることによって、地域に対して関心を持つことができると思うので、全戸配付や回覧するなど、住民への周知方法を検討していただけたらと思う。</p>	<p>① 地域まちづくり会議は、旧5町にそれぞれ設置して、15人の委員の方からいろんな意見をいただいている。意見等については、ホームページ等でお知らせしている。</p> <p>市民のひろば等で掲載するというのは、紙面の都合もあるので無理だと思う。</p> <p>地域の住民が情報を共有してほしいということで、インターネットを使用しているが、今後、どういう対応ができるかについては、かごしままちづくり会議も含めて、今後の課題とさせていただきます。</p>	<p>企画部、 総務局、 市民局</p>	<p>(企画部) 地域まちづくり会議の開催結果については、市ホームページに掲載するほか、支所及び地域公民館で閲覧ができるようにしている。</p> <p>また、市民のひろばへの掲載は紙面の都合上難しいが、11月号において、合併1周年ということで特集を組んで掲載したところである。</p>	<p>(企画部) 地域まちづくり会議の開催結果については、市ホームページに掲載するほか、支所及び地域公民館で閲覧ができるようにしている。</p> <p>また、市民のひろばへの掲載は紙面の都合上難しいが、11月号において、合併1周年ということで特集を組んで掲載したところである。</p>	1
					<p>(総務局) 9月30日、合併から1年を迎えるにあたり、市民のひろば11月号の特集記事で地域まちづくり会議を取り上げることを決定。担当課や会議の委員などへの取材を行った。これまでの開催経過、主な意見、市の検討状況などを紹介した。</p>	<p>(総務局) (検討結果、今後の方針等のとおり)</p>	1
					<p>(市民局) 地域まちづくり会議の広報については、合併1周年となる11月号の「かごしま市民のひろば」の特集面(カラータブロイド版2面全段)に会議の内容等を掲載し、市内の全世帯に配布したところである。</p> <p>毎回、会議の内容等を広報紙に掲載することは、市長が答えたとおり、紙面の構成上困難であるが、今後も随時、広報紙に掲載するなどして、市民の皆さんに会議の概要等をお知らせしていきたい。</p> <p>なお、会議の詳細については、市民参画推進条例の規則第3条に基づき、</p> <p>(1) インターネットによる公開</p> <p>(2) 公表に係る施策の所管課での供覧</p> <p>(3) 市政情報コーナーでの供覧</p> <p>のほか、全支所(9ヶ所)、地域公民館(13ヶ所)及び市民サービスステーション(鴨池・鹿児島中央駅)でも公開しているところである。</p>	<p>(市民局) 現在までの処理状況については、検討結果、今後の処理方針等のとおりである。</p> <p>今後も、市民参画推進条例に基づき、会議の概要等を公開するとともに、随時、市の広報紙「かごしま市民のひろば」に掲載を依頼するなど、会議概要等の広報に努めてまいりたい。</p>	1

松元地域での「市長とふれあいトーク」発言に対する処理状況

平成18年1月末現在

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等	現在までの処理状況	分類
		<p>② アスベストについては、公共施設では対応を図っているが、個人の住宅について、公的な相談場所はないのか。公的な相談窓口があれば広報してもらいたい。</p> <p>また、今後、市として、条例等を制定してこれに対応することは考えていないのか。</p>	<p>② アスベストについては、国でいろいろな施策を行おうとしているところであり、市も、企業等へ文書を出して注意を喚起しているところである。</p> <p>一般の方の相談窓口については、環境保全課に設置し、いろいろな相談や関係機関についての照会にも対応している。また、支所にも相談していただければ、そこから、担当課に連絡させるので、ぜひ活用していただきたい。</p>	環境局、建設局	<p>(環境局・建設局) 民間建築物については、建築指導課が相談窓口となって、市民から寄せられた吹付けアスベスト等に関する情報や相談に対して、必要な場合の目視調査等や分析機関を紹介等を行っている。</p> <p>なお、条例等の制定については、現在、国においてアスベスト対策として関係法令の整備に向けて検討がなされているところであり、今後ともこれらの動向を見ながら対応を図っていく。</p>	<p>(環境局・建設局) 民間建築物については、建築指導課が相談窓口となって、市民から寄せられた吹付けアスベスト等に関する情報や相談に対して、必要な場合の目視調査等や分析機関を紹介等を行っている。</p> <p>なお、条例等の制定については、現在、国においてアスベスト対策として関係法令の整備に向けて検討がなされているところであり、今後ともこれらの動向を見ながら対応を図っていく。</p> <p>また、多数の者が利用する建築物に対する改修等の助成を検討している。</p>	5
8	上谷口町男性	<p>現在、松元地区内を「ひゃくえんバス」と「福祉バス」が運行されている。特に福祉バスについては、老人クラブの研修会等で利用し、高齢者の方から非常に喜ばれている。</p> <p>しかし、あと2、3年したら廃止されるのではないかと懸念している人もいますので、この「ひゃくえんバス」と「福祉バス」の存続について伺いたい。</p>	<p>「ひゃくえんバス」については、旧松元町が素晴らしい制度として構築されたものである。合併し、新生鹿児島市になっても引き継いで存続しているところであり、皆さんの利便性に寄与していると思っている。もちろん福祉バスも同様である。</p> <p>そういったことから、存続をしていかなければならないと思っている。</p>	企画部、健康福祉局	<p>(企画部) 市長の発言のとおり</p> <p>(健康福祉局) 高齢者福祉バスは17年6月から、旧松元町が運行していたバスを含めた5台のバス全てを鹿児島市の制度に基づき運行している。</p> <p>現在、高齢者の教養の向上や健康増進の事業のため、老人クラブなど高齢者の団体に利用していただいているところであり、今後も継続して運行していきたいと考えている。</p>	<p>(企画部) (検討結果、今後の方針等のとおり)</p> <p>(健康福祉局) (検討結果、今後の方針等のとおり)</p>	1 1

松元地域での「市長とふれあいトーク」発言に対する処理状況

平成18年1月末現在

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等	現在までの処理状況	分類
9	上谷口町 男性	<p>① 県道35号線の道路整備の話があつたが私も同感だ。先日、3日間、朝7時から8時まで交通量を調べたが、平均で588台だった。この時間帯は、小・中学生の通学時間であり非常に危ない。</p> <p>内田団地から300メートル位は幅が狭く舗装も雑なところがある。朝にごみを出すときは、ごみ袋が車に接触したりして危険である。今、非常に事故が多く、死亡事故も多いので、県道35号線の整備を速やかにお願したい。</p> <p>また、助手席から袋や火がついたままのたばこを投げる人など、運転マナーが悪いのにびっくりした。</p>	<p>① 道路整備は市民、県民の要望が強い基幹整備だと思っているので、県の土木事務所などへ速やかに要望してまいりたい。</p> <p>また、運転マナーについては、公安委員会や県警の所管だと思うので、そちらにつないでおきたい。</p>	市民局、 環境局、 建設局	<p>(市民局) 運転マナーについては、鹿児島県警察本部に対して更に向上のための取組みの要望を行うとともに、本市としても、市民のひろばや各季の交通安全運動期間中に広報啓発活動を行ってまいりたい。</p>	(市民局) 県警に対して運転マナーに関する情報提供を行い、また、本市においては交通安全運動期間中にマナーアップの啓発活動を行っている。	1
					<p>(環境局) 本市では、昨年10月「鹿児島市みんなでまちを美しくする条例」を施行し、市内全域における公共の場所や他人の土地へのたばこの吸い殻や空き缶等のポイ捨てを禁止している。また、今年4月からは、悪質な条例違反者に対する過料規定を施行し、巡回パトロールを実施して違反者に対する注意指導を行っている。</p> <p>また、今年度の美しいまちづくり運動強調月間(8月)中に、たばこ販売共同組合やJ Tとの協働により、スモークマンシップ向上キャンペーンを実施し、ポイ捨て禁止等を訴え、喫煙者のマナー向上を図ったところである。今後、引き続き巡回パトロールを強化するとともに、喫煙者へのマナー啓発を実施してまいりたい。</p>	(環境局) (検討結果、今後の方針等のとおり)	1
					<p>(建設局) 県道35号線(永吉入佐鹿児島線)は、松元地域の中心市街地と周辺集落とのアクセス道路であり通学路でもある。道路改良については、これまでも地域住民からの要望もあり、県へも強く働きかけてきた。今回の意見を踏まえてあらためて県に意見をお伝えしたい。</p>	(建設局) (検討結果、今後の方針等のとおり)	4
		<p>② アスベストでは、全国で8万5千人の被害を受けられた方がいらっしゃるといふことだ。松元地域で、施設や学校の天井、廊下等にアスベストを使用しているところはないか率直にお聞きしたい。</p>	<p>② アスベストの旧松元町内での使用状況については、今、資料を持ち合わせていないが、平成8年以前の市内の全公共施設については、建設局で調査しているので、後日、報告させていただきたい。</p>	環境局、 教育委員会	<p>(環境局・教育委員会) 現在、本市施設については、吹付けアスベスト等の使用実態の把握に努めているところである。調査結果等についてはホームページ等により必要な情報の提供を行う。</p>	<p>(環境局・教育委員会) 市施設について実態調査を行った結果、30施設でアスベストの使用が確認されたが、旧松元町でアスベストが使用されている施設はなかった。調査結果の詳細については、ホームページ等で必要な情報の提供を行う。</p>	5

松元地域での「市長とふれあいトーク」発言に対する処理状況

平成18年1月末現在

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等	現在までの処理状況	分類
10	石谷町 男性	松元商工会が運営する夏祭りや花火大会などは、グループや中小商工業者の寄付で賄っている。夏祭りが存続できればと思っているので、商工業者の育成のためにも、市の援助、補助、育成についてよろしくお願ひしたい。	商工会については、それぞれの地域でそのまちの経済発展のために、大変なご尽力をいただいていることに敬意を表したい。また、商工会の存在が、まちづくりの一翼を担っていると思っている。商工会に対しては、それぞれ補助金を出している。これは、商工会を存続させるということはもちろんのこと、その活動に対する支援であり、今後も継続していきたく思っているので、ご理解をいただきたい。	市民局	夏まつりなどの観光イベント等については、合併時の調整方針において「現行どおりとする。ただし、実施主体や実施方法等については今後調整を行う」となっている。また、具体的な調整内容としては「夏まつりなどの各町商工会イベントについては、合併に伴う各商工会の動向を確認しながら、平成16年度は現行どおりとし、17年度以降については自身の必要性、妥当性、バランスをみながら、イベント等助成補助金を、現行補助金額を上限として今後調整検討することとする」（第15回経済専門部会）となっている。これらの調整方針等に沿って、17年度は松元町商工会夏まつりに対して110万円の補助金を交付したところである。今後も、地域社会におけるコミュニティ活動を促進するために、調整方針等に沿って夏まつりに対する支援を行っていきたい。	現在までの処理状況については、検討結果、今後の処理方針等のとおりである。平成18年度も引き続き、合併時の調整方針等に基づき、松元町商工会夏まつりに対する補助を検討しているところである。	2
11	直木町 男性	日本や世界で大きな地震が発生しており、県も地震の国、火山の国であるが、学校の校舎の耐震度調査はどうなっているのか。また、これに加え、学校の校庭整備は、小学校1校だけ終了しただけで、小学校3校、中学校1校、幼稚園が残ったままである。ぜひ、学校校舎の耐震度調査と併せて、校庭の整備も進めていただきたい。	耐震診断と校庭整備については、教育委員会が市全体の年次計画を立てながら実施している。時期は遅かれ早かれ、必ず実施していくので、よろしくお願ひしたい。	教育委員会	学校の校舎・屋内運動場の耐震診断については、対象校が多いことから建設年次が古いものの、階数の高いものを優先し、平成8年度から年次的に行ってきたおり、診断の結果、補強が必要な場合は耐震補強工事や建替えを行っている。今年度は14棟の耐震診断を実施する予定であり、そのうち松元地区では松元中学校を実施しているところである。また、学校の校庭整備については、本年度中の実施予定として、松元中学校防球フェンス設置工事、松元幼稚園フェンス改修工事があり、その他の整備工事については、年次的におこなっていく。	平成17年度予定分は全て実施済。未実施分は年次的に実施していく。	1